

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1183
施設名	にじの森保育園
施設所在地	荒川区南千住8-13-1
法人名	社会福祉法人三樹会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・実験から芽生える科学の目
～鏡・段ボール・ビニール袋などの教材に触れて、子ども達の好奇心を高め、空気や風・鏡などが起こす不思議な事象に気づく～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
・風…南千住地区は高層マンションの影響でビル風が生じて風が強い傾向にある。普段から風の強さは日々感じているだろうと想定して深い学びに繋げていきたいと考えたため。
・空気…見えない空気は集めてビニールに閉じ込めると浮いたり、飛んだりすること実験の中で気づいて欲しいと考えたため。
・鏡…文字が反対に映ったり、鏡の角度によってイラスト(ショートケーキ)の数が増えたりすることに興味を持って欲しいと考えたため。

2. 活動スケジュール

- ・1月…講師と共に鏡の不思議の実験をする。
- ・2月…講師と共に空気の不思議の実験をする。
- ・3月…講師と共に風の不思議の実験をする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
・鏡(大小)、イラスト
・ビニール袋、ロケット
・段ボール箱
・広い空間(ホール)でのびのびと取り組んだ。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・鏡については、イラストや文字・人物の写りに「反対に映ってるよ」「すごい！向こう側にうつってる！」鏡のトンネルコーナーでは「鏡のトンネルだ！」と自分の姿を見て目を輝かせていた。
- ・空気砲については、段ボール箱の側面を叩いた時に風を感じて「ここから」飛ばすときに高く飛ばすための方法を子ども同士で意見交換しながら試行錯誤していた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) 現象の名前：空気砲
- ・鏡については、イラストや文字・人物の映りに「反対に映ってるよ」「すごい！向こう側にうつってる！」鏡のトンネルコーナーでは「鏡のトンネルだ！」と自分の姿を見て目を輝かせていた。
 - ・空気砲については講師の渦輪の実験を食い入るように見ていた。段ボール箱の側面を叩いた時に風を感じ、くりぬいてある穴を覗き込んでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子ども達と一緒に実験を楽しみ、子どもの声に耳を傾けると大人では思いつかないような発想や気づきがあることを再確認した。
- 主体的に遊ぶ子どもを育むには、保育士主導ではなく、子ども自らが考えたり試したりすることがいかに大切であるかを学ぶことができた。